

## 健康補助食品 SRD-ES103A GOLD の有効性と有用性について —白内障に対する効果—

Effects and benefit of a new health food, SRD-ES103A GOLD  
—efficacy of the health food on cataract—

越久田活子<sup>1)</sup>、越久田健<sup>1)</sup>、越久田記子<sup>1)</sup>、池田真三<sup>2)</sup>、石井 隼<sup>2)</sup>、  
山上千津子<sup>3)</sup>、望月政太郎<sup>3)</sup>、西村猛虎<sup>4)</sup>、松井徳則<sup>5)</sup>、  
雨谷 栄<sup>6)</sup>、小松靖弘<sup>7)</sup>

1) おくだ動物病院 2) 池田動物病院 3) 株式会社 自然療法協会 4) ファミリーメガネ  
5) 獣医代替医療研究会 6) 日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科 7) サン自然薬研究所

はじめに：現在、日本は高齢者数が人口の約 25% と言われ、イヌ、ネコも高齢化を辿っており、加齢に伴う運動機能障害などに悩まされている。彼らの眼科疾患は緑内障、白内障など人の疾患と同様で最近では高齢化に伴う白内障が多くなっている。白内障の発症は犬種によって年齢差が認められている。犬の白内障も老化現象のひとつで 6 歳以上の犬では発症の割合が増加する。治療にはピレノキン、グルタチオンなどが用いられている。その治療効果についてイヌの場合もヒトと同様に満足のいく治療成績は得られていない。人では人口水晶体への置換手術が最終治療法となっている。イヌの水晶体置換手術はイヌの眼の組織がヒトと異なるため、ヒトの場合ほど普及していないのが現状と思われる。我々はこの様な現状を考え、イヌの場合できる限り早期に診断し白内障の進行を抑制、改善する事が可能な健康補助食品の開発について検討を加えてきた。試験方法および材料：被験物質：SRD-ES103A GOLD は 20 種類の日本や中国で食品として使用されている生薬類と食品類、その他のビタミン類含有植物で全て食品として使用される素材で構成した健康補助食品である。対象動物：おくだ動物病院（横浜市鴨井）と池田動物病院（川崎市武蔵小杉）に外来患者として受診し、白内障と診断されたイヌで、犬種、雌雄、避妊、去勢について不問とした。本試験への参加は飼い主に口頭でその趣旨を説明し、参加の意思を示した犬を対象とした。投与方法：体重によって投与

量を変えた。即ち、体重 3kg までの個体には 1 回、1 包、5kg から 10kg までは 2 包、それ以上には 3 包とし一日 2 回、食餌に混ぜ、投与し、臨床症状を観察、記録し、また眼の混濁度を目視から判断した。日常の行動観察は飼い主が検査用紙に記載し、担当獣投与期間は 9 週間とした。評価方法：幾つかの日常行動など臨床症状を観察、記録し、また眼の混濁度を目視から判断した。日常の行動観察は飼い主が検査用紙に記載し、担当獣医師に提出し、最終的に担当獣医師による治験委員会にて効果を評価した。両病院の全症例における有効性、有用性：おくだ動物病院および池田動物病院での臨床試験の結果から SRD-ES103A GOLD は 5 症例の軽度白内障では夜間の歩行、暗所への移動、視力が改善したと考えられた行動を認め、10 症例で羞明などの日常行動観察から軽度、中等度の白内障の進行を抑制する作用が推測された。本健康補助食品の投与期間中、有害事象の発現が無く、症状の悪化した症例が無かった事から、イヌの白内障に有用で、安全な食品であると判断された。ヒトにおける効果について：検査前の視力測定で、左眼は 0.9 で若干近視の状況が観察されたが、右眼の視力は弱く、0.2 と比較的強い近視眼であった。また、光の透過状況は左眼では特に問題は無く、本機で検出できたが右眼は反射光の透過が認められず、測定器では“Error”が表示され検出できなかった。水晶体に混濁があると推測されたが「物が見えない」状況ではなかった。この状況で

SRDES103A GOLD の摂取を試みた結果、レフラク  
トメーターによる視力検査で6週間後には本器によ  
る視力の測定が可能となった。結論：以上の犬の白  
内障、人の白内障の進行に抑制的に作用し、有害事  
象が観察されなかった事から有用性の高い健康補助

食品と考えられる。詳細な作用機序については今後  
の課題であり、抗酸化活性の観点から検討を加えて  
行く予定であり、また眼底カメラによる効果判定も  
実施する事としている。